



まちのわだい

町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！



8/11 第9回パークゴルフ家族大会

家族と一緒に楽しくプレー

依田公園内の俳句村コースでパークゴルフ家族大会が開催されました。俳句村コースは、あちこちに俳句が刻まれた石碑「句碑」が建てられているユニークなコースです。

参加者は家族と一緒に楽しくプレーしながら、18ホールを回りました。



8/5 忠類保育所夏まつり

夏まつりを堪能！

忠類保育所夏まつりが開催されました。浴衣や甚平を身にまとった園児たちは、短冊を飾り付けた笹を囲んで元気よく七夕音頭を踊りました。また、くじ引きや射的も楽しみました。

まつりの最後は、恒例の花火大会。夜空に打ちあがるたびに歓声が上がりました。



7/24 第2回幕別町e²スポーツ大会

eスポーツで熱戦

町民会館でe²スポーツ大会が開催されました。eスポーツとはコンピューターゲームのことで、これに「簡単・気楽」を意味する「イージー(easy)」を掛け合わせ、題して「e²スポーツ」。

3人で1チームとなり、スクリーン上で熱い戦いを繰り広げました。



7/21 社会を明るくする運動幕別町推進委員会

明るい社会の実現に向け街頭啓発

犯罪や非行をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることができる社会の実現に向け、町内3カ所で街頭啓発を行いました。

町内の高校生も協力し、スーパーマーケットの入り口前でチラシやクッズを配布しました。



小学生国内研修

中土佐町で、思い出いっぱい夏休み

7月23日から25日まで、小学6年生15人が高知県中土佐町で研修を行いました。施設見学や高知県の名産品であるカツオのわら焼き体験、川遊びなど、現地の小学生と交流しながら、盛りだくさんの2泊3日。初めての場所や経験、そして新しい友達…。小学生最後の夏にたくさんの思い出ができました。

8月3日から6日までは、中土佐町の小学生が幕別町で研修を行いました。



1 やっと中土佐町に到着 2 四万十民俗館を見学 3 四万十川で川遊び 4 高知市・桂浜公園内の坂本龍馬像前で 5 カツオのわら焼きを体験

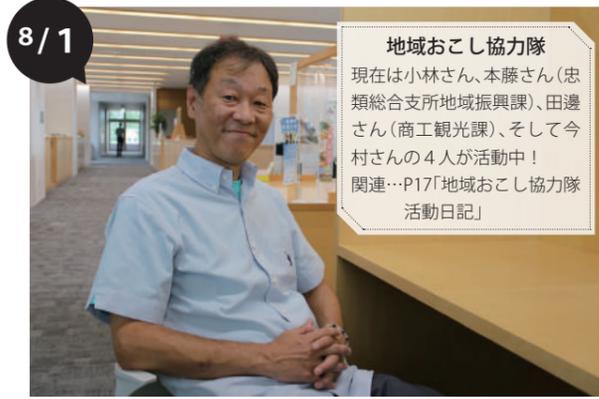


8/3 慶應義塾体育会野球部 野球教室

あこがれの大学生選手と野球練習

8月2日から7日にかけて幕別町で夏季合宿を行った慶應義塾体育会野球部(慶應義塾大学)が、野球教室を開きました。

参加したのは、少年団や部活動で野球を練習する小中学生86人。ポジションごとに投球や打撃、守備などを教わりました。



8/1 今村均さん 地域おこし協力隊就任

人とのつながりを大切に活動したい

神奈川県横浜市出身の今村均さんが、地域おこし協力隊に就任しました。今村さんは幕別町商工会に出向し、電子地域通貨の導入支援と利用促進、情報発信などに取り組んでいます。

「魅力あるまちづくりを目標に、多くのみなさまの夢を形にできるよう、人とのつながりを大切にして活動していきたい」と抱負を話しました。

地域おこし協力隊 活動日記

夏の風物詩

暑い日が続いていましたが、きれいに晴れた青空をなかなか見ることができなかった7月に、幕別町の夏フェスタが3年ぶりに開催されました。

昨年、幕別町に来てとても楽しみにしていた初めての夏フェスタの中止が決まった時には、すごく残念な気持ちになったことを覚えています。

子どもの頃住んでいた大阪市では、当時花火大会はまだ規模も小さく、開催件数も少なかったため、地元で行われる花火大会は毎年楽しみにしていました。あれから40年以上経った今でも遠くに音を聞いてはソワソワし、大きく打ち上げられた花火を見て音を感じるとワクワクします。そのようなところだけ、いつまでも子どものままなんだと思ってしまいます。

降雨のため開催日を1日順延して、もう1つの楽しみ飲食ブースは中止となってしまいましたが、花火大会だけでも開催でき、多くの方に短い夏の始まりを告げることができたのではないのでしょうか。

漆黒の夜空に輝く花火と、心を揺さぶる音の余韻に浸りながら、来年の夏フェスタはもっとワクワクしたいと今から待ち遠しくなります。

著：田邊通（たなべとおる）
令和3年4月1日より地域おこし協力隊として活動。大阪府出身。



まちの魅力、SNSで発信中！

▶ 幕別町ふるさと納税

農作物や畜産品、工芸品などの地場産品と、まちの知られざる魅力を発信中！



▶ 幕別町地域おこし協力隊

忠類地域で活動する隊員が、地域の魅力や日常をつづっています。



地域おこし協力隊 2022特別企画

化石発掘見学ミニツアー

忠類晩成では昭和44年にナウマン象の化石が発見され、令和元年から行われている調査でも足跡化石と推定されるくぼみが多数確認されています。

年1回の調査期間に合わせ、現場で発掘作業を見学しませんか。



日程 10月22日④ ①午前10時 ②午後1時
10月23日⑤ ③午前10時 ④午後1時

集合 忠類ナウマン象記念館 ※車で来場ください。

定 10人(各回車5台まで)

内 集合場所の忠類ナウマン象記念館から発掘現場まで誘導(各自の車で移動)します。

調査員が各回30分程度ミニガイドを行ったあと、現地で自由解散となります。

持 長靴

期 9月15日⑥～10月14日⑦ ※先着順、定員になり次第締め切り

他 マスクの着用など新型コロナウイルス感染症予防に協力ください。

問・用 忠類ナウマン象記念館 ☎ 8-2826

参加料
無料

テーマ 災害時の連絡手段

災害時の安否確認などは「災害用伝言ダイヤル(171)」を活用！

国防災環境課
防災危機管理係
☎ 54-6601

もしもに備えよう



安否不明の家族が
171(いない)のように
利用方法を知ろう！



災害発生時は、安否確認や問い合わせなどの電話が爆発的に増加し、電話がつながりにくい状況が続きます。

そんなときに役立つサービスがNTTの「災害用伝言ダイヤル(171)」です。これは、災害発生後にNTTがシステムを稼働し、家族間の安否確認や集合場所の連絡などに利用することができるものです。

日頃から家族みんなで使い方を確認し、活用できるようにしておきましょう。

伝言の登録・再生方法



- 171にダイヤル
- ガイダンスに従って該当番号をダイヤル(録音は「1」、再生は「2」)
- 【被災地の方】自宅の電話番号または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル
【被災地以外の方】連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

サービス内容

- 伝言録音時間：1伝言あたり30秒以内
- 伝言保存期間：サービス提供期間終了まで
- 伝言蓄積件数：電話番号あたり1～20伝言まで(実際の件数はサービス提供時にお知らせ)

体験版の利用

- 毎月1日と15日(0時～24時)
- 1月1日～1月3日(0時～24時)
- 防災週間(8月30日9時～9月5日17時)
- 防災とボランティア週間(1月15日9時～1月21日17時)

体験版を
利用してみよう！



災害用伝言板(Web171) / 携帯電話各社の災害用伝言板

インターネットを利用して、携帯電話やスマートフォンから安否を登録・確認できるサービスです。NTTが開発する災害用伝言板(Web171)は災害用伝言ダイヤルと連携しています。また、携帯電話各社が開発する災害用伝言板もありますので、確認しておきましょう。



▶ 防災情報メール
QRコードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、ご登録ください。

touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp



▶ 幕別町防災公式LINE
QRコードを読み込み、「友だちに追加」でご登録ください。

ID検索はコチラ⇒⇒@makubetsu